

創造主へ捧げる礼拝

当教会では、八百万の神と主を区別する為「神」を創造主とお呼びして礼拝しています。
創造主訳聖書を用いて礼拝しています。お持ちでない方は受付にてお貸ししております。

2023年1月15日 聖日礼拝

●招きの言葉(聖書朗読)

※ワーシップ (賛美の時)

●祈禱(司会者が会衆を代表して祈ります)

※今月の御言葉 箴言3章5～6節

※子供賛美 この心満たして

※使徒信条

※賛美 新聖歌54番「主の祈り」

●メッセージ

聖書箇所：士師記14章19～15章8節、第1ペテロ2章22～23節

タイトル：クリスチャンの正しい復讐法

※賛美：主の癒し受け取るう

●献金と感謝の祈り

※頌栄と祝禱 新聖歌316番「御言葉なる」1,4節

●歓迎とお知らせ

〈お願い〉

※印のところは小声か心で
賛美・告白して下さい

〈今月の御言葉〉テーマ：主を認めて生きる | 箴言3章5～6節

こころ しゅ しんらい じぶん えいち たよ
心から主に信頼しなさい。自分の英知に頼ってはならない。
なに とぎ しゅ みと みち まっすぐ
何をする時にも、主を認めなさい。そうすればあなたの道を真直にされる

〈使徒信条〉

われ てんち つく めし ぜんのう ちち そうぞうしゅ しん われ ひと ご われ しゅ
我は天地の造り主、全能の父なる創造主を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリスト
を信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを
う じゅうじか つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、天
にのぼり、全能の父なる創造主の右に座したまえり。かしくよりきたりて生ける者と死にたる者
とを審きたまわん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの
よみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

- 聖日礼拝 毎週日曜10:30 ■日曜学校(子供/大人) 毎週日曜9:00 ■祈禱会 毎週水曜11:00
■卓球(卓球) 毎週水曜13:15 ■聖書を読む会 木曜10:00(月3回) ■女性集会 木曜10:00(月1回)
■ゴスペル万木・金(月3回) ■クラフトカフェ金曜10:00(月1回) ■創愛クラブ 毎週土曜9:30

本日のメッセージ

【聖書箇所：士師記14:19～15:8節、第1ペテロ2:22～23節】※ポイントとなる箇所のみ印刷されています。

士師記15章3節 サムソンは腹を立てた。「これから先何が起ころうと、私の知ったことではありませんよ」。

士師記15章7節 サムソンは彼らに言い放った。「この敵は必ず取ってやる」

第1ペテロ2章23節 どんなに侮辱されても、口答えをされず、どんなに苦しめられても仕返しをされず、最後に公正な裁きをなさる父である創造主に全てを委ねておられた。

1. 映画：ショーシャンクの空から思う現実

映画の前半部では、刑務所の中で復讐劇が繰り広げられる。実は私達の生き方もそうかもしれない。自分の言動に「なぜ」を繰り返し問うてみる。

2. 復讐が復讐をうみ、悲劇をうむ

①サムソン

・ナジル人として区別された存在 ・士師として召された ・欲望のままに結婚

②復讐と悲劇

・欲望のままに異邦人と結婚。その披露宴で1つ目の悲劇。妻を置き去りにし帰宅。
・しばらく後、妻を求めても、他者の妻となっていた。

●サムソンはペリシテ人へ復讐する→●ペリシテ人は元妻と義父を殺害→●サムソンはペリシテ人を殺害・・・復讐が復讐を生み、連鎖していった。この過程でサムソンは怒りや復讐心に介入して下さるように祈り求めない。

③イエス様の方法

・第1ペテロではイエス様も不条理、侮辱、苦しみに遭われていたと記録されている。しかし復讐はされなかった。代わりに、公正な裁きをされる創造主に委ねる決断をされた。イエス様に感情がないわけではない。しかし、決断された。

3. 私たちは？

社会・家庭・教会での私たちの言動はどうだろうか？なぜその発言と行動を取っているのだろう？もし心の中に復讐心があるのなら、主に委ねなければ、人生に悲劇を生む。

子供用
クイズ!

聖書を読んだら「イエス様もひどい目にあった事があった」って書いてあった。その時にイエス様がされたことは何か？



- ①ひどい目にあわせた人をボコボコにした。
- ②創造主にすべての判断を任せた。
- ③もう絶対にゆるさないと心に決めた。



●教勢報告●

礼拝	人数詳細		各集会と人数			
聖日礼拝 礼拝堂	男22名 女35名	69名	水曜祈祷会	8名	ホッとする会	6名
聖日礼拝 中継	男6名 女6名		聖書を読む会	休み	ママトク	3名
日曜学校(~小学生)	子供9名 大人9名	次世代 9名	卓レシア	休み	ブッククラブ	3名
日曜学校(中高科)	学生1名 教師1名		ゴスペルワのべ	休み		

歓迎と教会のご案内/Welcome

- 本日、初めて来られた方を歓迎致します。教会では礼拝以外にも様々な集会を開催しております(裏面参照)。どうぞご自由にご参加下さい。教会のメンバーシップへの登録を希望される方や、信仰の学びをご希望される方は牧師までご相談下さい。
- 今週、お誕生日をお迎えになられた方をお祝いします。

お知らせ/Announcements

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお知らせです(下記は各自でご確認下さい)。
 - ①礼拝に参加される場合にはご自宅にて体調チェックを行なった上でご来会下さい。玄関での検温・手指の消毒・マスクの着用、館内ではソーシャルディスタンスの確保をお願いします②教会の公式ホームページで礼拝映像、週報の提供を行なっています。③同居家族はなるべく一緒に着席して下さい。④礼拝時の発声(賛美や告白)は小声や心でお願いします。
2. 礼拝後(礼拝終了15分後)に、長老会が行われます。
3. 今月は男性・女性の交わり会を行います。どうぞご参加ください。
 - ・1/22(日) 礼拝後 男性の集まり(体を動かすゲームで遊びます/多目的室)
 - ・1/29(日) 礼拝後 女性の集まり(おしゃべり会です。茶菓子提供/多目的室)
4. 教会では夏にマレーシア宣教を企画しています。マレーシアの現地教会や養護施設などを巡回し、ゴスペルフラの公演の他、日本文化などを紹介する時を持ちます。フラのメンバー以外にもボランティアが必要です。1月22日礼拝後に現地宣教師から現地の様子を聞く会を持ちます。ご興味のある方はぜひご参加下さい。
5. ノアの箱船記念館ではクリスマス・新年セールを行っています(全て10%引き)。礼拝後30分間、記念館を開館しております。ぜひお立ち寄り下さい。

お祈りの課題/Prayer Requests ※コロナウイルス事態の収束の為に祈り下さい。

1. 教会のビジョン 2022年度のビジョンが主によって導かれますように。
2. 教役者の為。①堀越葉満主事_健康が守られるように。②宮崎牧師家庭_牧会の為に
3. 教会員のため(1月)
4. ノアの箱船記念館の働きの為。

予定/Schedule

1/15(日)	1/16(月)	1/17(火)	1/18(水)	1/19(木)	1/20(金)	1/21(土)
9:00～グロリ礼拝 10:30～合同礼拝 長老会			11:00～水曜祈祷会	10:00～ 聖書を読む会 10:00～ 受洗後の学び 11:15～ゴスフラ	19:00～ ゴスペルフラ	
1/22(日)	1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	1/28(土)
9:00～グロリ礼拝 10:30～合同礼拝 男性交わり会・ マレ-シア宣教説明会		記念館団体 訪問20名 (ジーザスウ エイチャー チ)	11:00～水曜祈祷会	10:00～ 聖書を読む会 10:00～ 受洗後の学び 11:15～ゴスフラ	19:00～ ゴスペルフラ	13:00～グロリ -教師会

ご奉仕担当(1/15～1/21)

	今週	次週	日曜	受付当番	ゴミ当番
司会			第1週		第1週
説教			第2週		第2週
奏楽			第3週		第3週
献金祈祷			第4週		第4週
礼拝堂清掃			第5週		第5週
2階トイレ			男子トイレ		女子トイレ

創愛キリスト教会はこんな教会です / Mission Statement 2022

【創愛キリスト教会の創立ビジョン】

- ①創造を信じる信仰を大切にします。 ②神ではなく創造主とお呼びします。
- ③イエス・キリストを知らない99%の方々に伝道します。

【創愛キリスト教会の2022年度のビジョン】 —コロサイ教会へのパウロの手紙2章6～7節—

「キリストに深く根を張り、お互いを建て上げる共同体」

【創愛キリスト教会がクリスチャンとして大切にしていること】 教会員目的宣言

- ①私達は、創造主に造られた者であり、また、イエス・キリストによって赦された者である事を信じます(創造)。
- ②私達は、創造主の聖心に従う事が生きる目的である事を信じ、創造主を心から愛し、ほめたたえます(礼拝)。
- ③私達は、聖書の学び・分かち合い・祈りなどを通して主イエスに似た者へと成熟する事を願い助け合います(成熟)。
- ④私達は、主イエスの体の各部分として、賜物の活用・献身・献金などによってその御業に参加する事を喜びとします(奉仕)。
- ⑤私達は同じ創造主に造られた者としての夫婦・家族・隣人が与えられていることを自覚し、感謝をもって互いに愛し、支え合います(所属)。
- ⑥私達は、唯一の創造主と唯一の仲保者イエス・キリストの赦しを信じ、それを証させて下さる聖霊の助けによって、それを人々に伝えます(伝道)。

■住所：〒510-0946 三重県四日市市小林町3018-169 ■牧師：宮崎聖

■TEL&FAX 059-321-2773 ■Email : sande0426@yahoo.co.jp

■公式ホームページ : <http://soai-christ-church.com>

